

林 務 課

1 概 況

森林は、諏訪湖を取り囲む山地と、八ヶ岳・霧ヶ峰山麓及び釜無山・入笠山山麓等に分布し、カラマツ、アカマツが主要樹種となっている。

管内の森林面積は、50,826ha、森林率 71.0%（県全体 78.1%）で、うち民有林は、41,821ha である。なお、主要樹種であるカラマツは、18,415ha で民有林立木地面積の 46%を占めている。

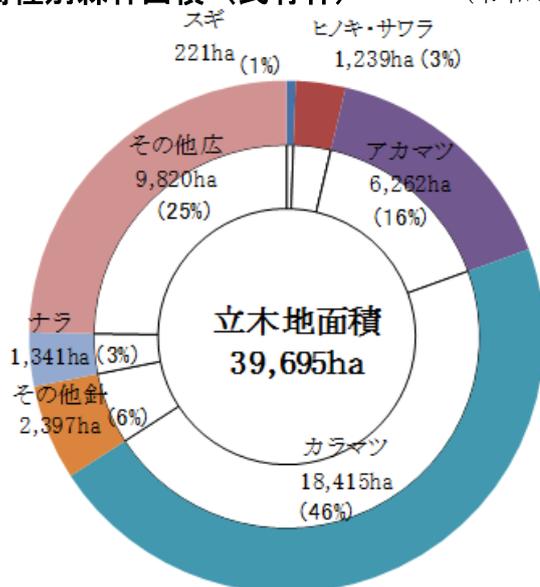
(1) 市町村別森林面積等

(令和2年9月1日現在)

市町村名	項目	総面積 ha	森林面積 ha	森林率 %	民 有 林	
					面積 ha	蓄積 千m ³
岡 谷 市		8,510	5,698	67.0	5,677	1,275
諏 訪 市		10,917	7,278	66.7	7,278	1,447
茅 野 市		26,659	20,083	75.3	15,112	2,739
下 諏 訪 町		6,687	5,647	84.4	4,016	818
富 士 見 町		14,476	10,158	70.2	7,776	1,700
原 村		4,326	1,962	45.4	1,962	352
計		71,575	50,826	71.0	41,821	8,331
県 全 体		1,356,160	1,059,230	78.1	687,343	137,432

(2) 樹種別森林面積（民有林）

(令和2年9月1日現在)



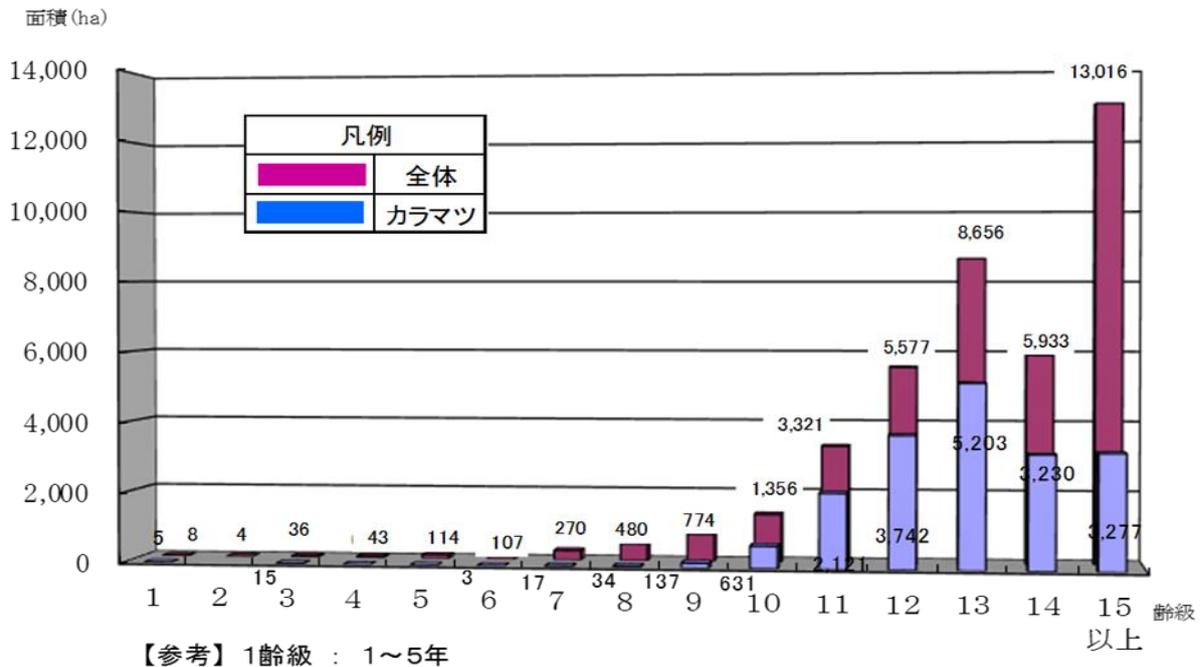
2 健全な森林づくり

管内の民有林は、戦後植林された森林が成熟しつつあり、計画的な間伐と搬出による材の利活用を推進している。

平成 20 年度からは、「長野県森林づくり県民税」を活用した事業を加え、健全な森林づくりに集中的に取り組んでいる。

(1) 民有林の齢級別面積

(令和 2 年 9 月 1 日 現在)



(2) 間伐実績と目標

(単位 : ha)

区分	5 か 年 の 間 伐 実 績						R2 年度 目 標
	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度	R 元年度	計	
管 内	824	804	747	915	823	4,113	700
県全体	15,221	13,634	11,314	10,992	9,652	60,813	

(3) 林業労働力

林業従事者数は 127 人で、森林組合及び素材・造林業（会社）が全体の 67%を占めている。
(単位：者、人)

区 分	森林組合	素材・造林業(会社)	個人林業営業体	NPO法人	建設業(会社)	合 計
事業体数	1	11	1	1	5	19
比率	5 %	58 %	5 %	5 %	27 %	100 %
林業従事者数	12	73	6	18	18	127
比率	9 %	58 %	5 %	14 %	14 %	100 %

注) 令和元年度林業事業体調査による。

3 森林づくりのための基盤整備

(1) 保安林の面積

(令和2年9月1日現在)

種別	水源かん養	土砂流出防備	その他	計
			(土崩・防風・水害・干害・保健)	
面積	5,444ha	4,408ha	70ha	9,922ha
比率	54.9%	44.4%	0.7%	100%
民有林面積		41,821ha	保安林率	23.7%

注) 長野県民有林の現況(令和2年)による。

(2) 治山事業

保安林の機能を高度に発揮させるため、計画的な実施に努めている。(単位：円)

事業種別	令和2年度 実績		令和3年度 計画	
	箇所数	事業費	箇所数	事業費
復旧治山			2	52,008,000
緊急総合治山	1	8,900,000	1	57,000,000
緊急予防治山	(1)	(9,014,000)		
緊急機能強化・老朽化対策	1	47,003,000	1	20,009,000
防災林造成	(1)	(7,425,000)		
水源森林再生対策	1	6,006,000		
奥地保安林保全緊急対策			(1)	(26,158,000)
予防治山	(1)	(31,011,000)	(1)	(22,132,000)
機能強化・老朽化対策	1	25,872,000	1	63,300,000
災害関連緊急治山			1	8,008,000
予防治山	(1)	(38,005,000)		
機能強化・老朽化対策	1	(19,347,000)	(1)	(29,926,000)
災害関連緊急治山	(1)	(20,080,000)		
災害関連緊急治山		(65,637,000)		
県単治山	3	23,665,400	4	26,000,000
計	(6)	(170,439,000)	(4)	(93,923,000)
	8	134,276,400	10	226,325,000

注1) ()書きは前年度からの繰越額で外数、箇所数は発注工区数(委託を除く)

注2) 令和2年度補正は、令和3年度に含む

注3) 令和3年度県単治山は、4月末時点の確定箇所・事業費

(3) 林道事業

林業経営の基盤である林道は、令和16年度末で林道密度14.3m/haを目標に整備を進めており、令和元年度末では6.1m/ha、進捗率は約42.7%となっている。

林道網整備長期計画（平成7～令和16年度）

全体計画 林内道路		内 訳（計画）				令和元年度末林道現況		
		林内公道		林 道				
延長	密度	延長	密度	延長	密度	延長	密度	進捗率
m	m/ha	m	m/ha	m	m/ha	m	m/ha	%
899,000	21.5	301,568	7.2	597,432	14.3	255,157	6.1	42.7

(単位：円)

事業種別			令和2年度 実績		令和3年度 計画	
			箇所数	補助対象額	箇所数	補助対象額
補助	林道	改良	(1) 2	(32,340,000) 22,000,000	(1) 1	(99,176,000) 5,258,000
	林道施設災害	林道復旧	(1)	(2,453,000)		
計			(2) 2	(34,793,000) 22,000,000	(1) 1	(99,176,000) 5,258,000

注) 上段()書きは前年度からの繰越額で外数、箇所数は路線数（令和3年度改良は委託）

4 野生鳥獣被害対策

特定鳥獣管理計画等にもとづき、捕獲及び捕獲個体処理対策、集落周辺の環境整備等を実施し、野生鳥獣による農林業被害の軽減を図っている。

(1) 野生鳥獣による被害額及び捕獲数（狩猟を含む） (単位：千円、頭・羽)

区分		年度					
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度
カモシカ	被害額	6,205	3,413	3,153	3,656	1,637	880
	捕獲数	2	6	8	3	1	0
ニホンジカ	被害額	58,882	52,884	43,572	36,808	34,391	41,241
	捕獲数	5,749	4,216	3,628	3,533	3,431	3,543
ニホンザル	被害額	1,769	2,055	2,471	2,469	2,363	3,475
	捕獲数	107	111	50	46	39	47
ツキノワグマ	被害額	0	0	0	784	465	408
	捕獲数	0	0	0	0	0	0
イノシシ	被害額	1,645	5,024	1,162	1,008	1,250	1,434
	捕獲数	172	88	139	138	148	138
その他 獣類	被害額	3,978	5,064	6,289	5,996	6,998	5,768
	捕獲数	284	375	367	368	399	349
鳥 類	被害額	5,428	4,717	5,509	8,367	6,959	6,598
	捕獲数	578	552	617	555	401	554
合計被害額		77,907	73,157	62,156	59,088	54,063	59,804

* 単位以下四捨五入の関係で縦集計は必ずしも一致しない。

(2) 野生鳥獣総合管理対策事業補助金 (単位：円)

事業種別		令和2年度実績		令和3年度計画（要望額）	
		事業量	補助金額	事業量	補助金額
緊急捕獲活動支援 (農水省交付金)	有害捕獲	2,130 頭	14,428,000	2,995 頭	21,414,000
	(小計)		14,428,000		21,414,000
広域捕獲支援 (林野庁交付金)	広域捕獲支援	3 市町	825,000	3 市町	925,000
	(小計)		825,000		925,000
県費単独	大型獣緊急捕獲・放獣 (ツキノワグマ放獣)	8 頭	308,000	12 頭	458,500
	シカ等個体数調整・捕獲	336 頭	832,000	592 頭	1,464,500
	集落等捕獲隊活動支援	1 市	114,000	1 市	200,000
	鳥獣被害対策実施隊員支援	6 市町村	452,800	6 市町村	482,675
	残渣処理作設経費	0 箇所	0	4 箇所	200,000
	銃猟者確保・育成支援	0 市町村	0	1 町	20,000
	(小計)		1,706,800		2,825,675
合計		16,959,800		25,164,675	

5 林業生産状況等

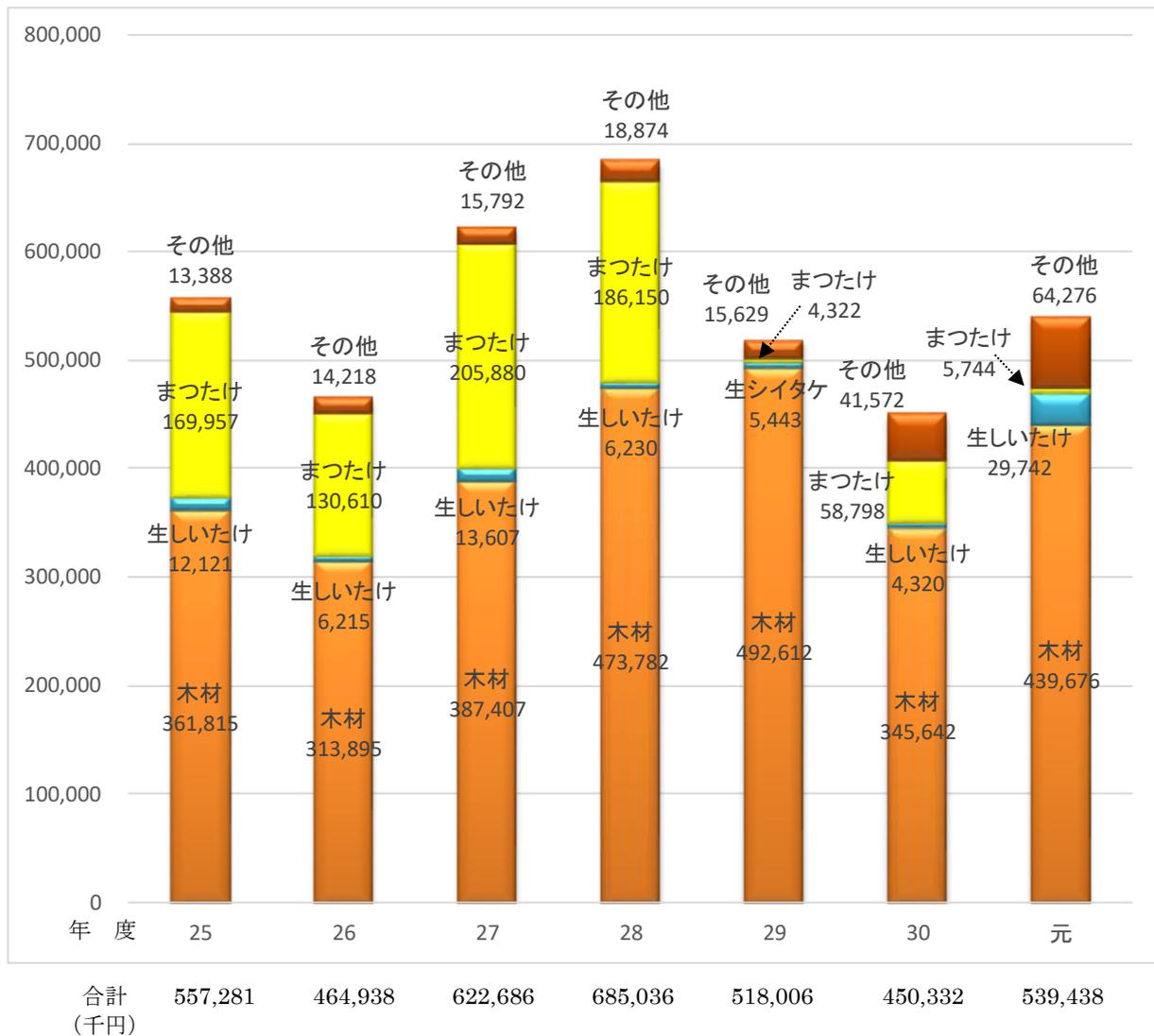
令和元年度の林業生産額は 539,438 千円で前年比 119.8%となった。

平成 30 年度の木材生産額は、八ヶ岳山麓が台風により被災し主伐・間伐量が減となり大きく落ち込んだが、令和元年度は合板需要増などにより回復した。今後も合板需要増による木材生産額増が見込まれる。

一方、まつたけは、平成 30 年度が並作だったが、令和元年度は天候不良等のため不作だった。気候条件が整えば豊作が期待できることから、各地でまつたけ山の手入れが盛んに行われている。

(マツタケ収穫量の推移 H28:10.4 t、H29:0.1 t、H30:2.9 t、R元:0.2 t)

林業生産額の推移



6 森林税活用事業

平成 30 年度から第 3 期目の森林税がスタートし、これまでの里山整備に加え、教育や観光等、多面的な森林の利活用に用途を広げ、地域や様々な分野の方々による主体的な里山の整備・利用を推進している。

令和 2 年度森林税活用事業実績

区分	令和2年度実施内容	箇所・面積・延長等	補助金額
1 「防災・減災」及び「住民等による利活用」のための里山等の整備			
防災・減災のための里山等の整備事業	【みんなで支える里山整備事業】 「防災・減災」の観点から、未整備の里山のうち、科学的知見等を活用して優先的に整備が必要な箇所の間伐に要する経費を補助	諏訪振興局管内一円 37ha	16,369千円
	【ライフライン等保全対策事業】 集落や主要なライフライン(道路・線路・電線等)に接する森林において、倒木の恐れのある危険木伐採に要する経費を補助	岡谷市、茅野市、 富士見町、原村	
県民協働による里山の整備・利用事業	【みんなで支える里山整備事業】 里山利用整備地域において、集落周辺の電線や建物に隣接する立木の特殊伐採や搬出間伐等に係る経費について補助	諏訪市北真志野(2年目) 茅野市永明寺山(3年目) 蓼科高原(1年目) 小泉山体験の森(1年目) 信州ピーナスライン(1年目)	2,029千円 552千円 2,866千円 3,442千円 1,118千円
	【里山整備利用地域活動推進事業】 里山整備利用地域において、里山整備活動、森林環境教育、薪生産活動、野生鳥獣対策、案内板の設置等に係る経費を補助	諏訪市北真志野(2年目) 茅野市小泉山(1年目)	196千円 255千円
	【里山資源活用推進事業】 間伐事業実施地の森林所有者の合意形成のための取組に係る経費を補助	茅野市小泉山(1年目)	0千円 (コロナ対策により 実施見送り)
地域で進める里山集約化事業	間伐事業実施地の森林所有者の合意形成のための取組に係る経費を補助	諏訪市 1地区 富士見町 2地区	1,399千円
河畔林整備事業	【県単河畔林整備事業】(諏訪建設事務所) 県が管理する一級河川と市町村が管理する準用河川の河畔林整備	一級河川 原村阿久川 700m	5,005千円
		準用河川 富士見町母沢川 250m	4,500千円
		原村前沢川 150m	1,440千円
2 自立的・持続的な森林管理のための間伐材等の利活用			
地消地産による木の香る暮らしづくり事業	【木工体験活動支援事業、木質空間整備事業】 学校における木工作など、県産材利用の取組に係る経費を補助	木工体験活動 茅野市(米沢小) 子どもの居場所 茅野市(長野トヨペット)	0千円 (コロナ対策により 実施見送り) 158千円
3 多様な県民ニーズに応えるための森林の利活用			
森林の教育利用の推進事業	【学校林等利活用促進事業】 学校林の活用を推進するため、放置され利用困難になっている学校林の整備や、学校林を利用した活動に係る経費を補助	茅野市(永明小) 1.5ha	412千円
観光地における景観形成のための森林等の整備事業	【観光地等魅力向上森林景観整備事業】 観光地等の魅力向上を図るため、景観に合致した森林整備等に係る経費を補助	岡谷市(花岡公園)0.12ha	4,500千円
		諏訪市(守屋山)1.08ha 茅野市(蓼科笹丸平)0.90ha	1,445千円 483千円
	【観光地の周辺における街路樹整備事業】 (諏訪建設事務所) 観光地周辺等の街路において、景観形成のための街路樹の整備を実施	諏訪市 (主)岡谷茅野線 湊～石舟渡 3.9km	5,000千円
4 市町村に対する財政調整的視点での支援			
森林づくり推進支援金	森林に関する様々な課題解決のための市町村独自の取組に対する支援	岡谷市 諏訪市 茅野市 下諏訪町 富士見町 原村	1,293千円 1,387千円 1,852千円 745千円 1,012千円 526千円
合 計			74,546千円